

2023 年 8 月 1 日改定のトラックレース UCI 規則について

2023 年 7 月 審判委員会

UCI より 2023 年 8 月 1 日および 2025 年 1 月 1 日から適用の UCI 規則改定が発表されており、本連盟ホームページの競技規則ページにも 8 月 1 日改定箇所抜粋の和訳版が掲載されました。

<https://jcf.or.jp/wp2012/wp-content/uploads/downloads/2023/07/60514480654780b84d2e354831ac72e6.pdf>

審判委員会は、かねてより UCI 規則の改定に合わせて国内の競技大会においても同時に新しい規則の適用を推奨してまいりましたが、2023 年 8 月 1 日改定の内容については現行の競技規則と大きく異なる箇所があること、各加盟団体において全国規模の競技大会の実施を控えるタイミングであることで、UCI 規則改定に合わせて即事に国内にも適用することは競技運営に混乱をきたす可能性も予想されます。

よって、今回の 2023 年 8 月 1 日改定の競技規則については原則的には即事の適用を推奨しつつも、今年の競技シーズン終了（2024 年 3 月 31 日迄）までをめぐり、大会ごとに旧規則適用を判断していただくことを容認することと致します。その際には大会要項、特別規則、コミュニケ、監督会議等で十分に周知をしていただき、混乱のない競技運営となるようにお願い申し上げます。

ただし、国内外での UCI 国際カレンダー掲載レースにおいては、それぞれの適用日以降ただちに最新の UCI 競技規則が適用されますのでご注意ください。

以下、2023 年 8 月 1 日および 2025 年 1 月 1 日適用の UCI 競技規則の改定について要点を記載いたします。列記したものが改定箇所のすべてではありませんので、必ず UCI 規則の和訳版のみならず UCI ホームページ掲載の原本をご確認ください。

2023 年 8 月 1 日改定（2023 年 7 月 1 日現在）

・ジャッジレフリーの権限について(UCI 3.2.001)

ジャッジレフリーは競走種目において独自にペナルティを下す判定を行うことができますが、今回の改定でジャッジレフリーが下した判定をチーフコミセールがコミセールパネルメンバーにより協議することが可能となります。この協議の後、ジャッジレフリーの判定を覆すことはチーフコミセールのみが行うことができます。

・警告について(UCI 3.2.013 が削除され 3.10.003 に統一されます)

現在トラックレース中の警告および降格については、競技大会内の 1 つの競技種目のみに累積されておりましたが、今回の改定で競技種目を越えて競技大会全体で累積されるよう

になります。

すなわち、競技大会中にある競技者が競技種目を問わず 2 回目の警告または 3 回目の降格を受けた場合には、その競技大会からの失格となります。

・スタンディングスタート種目の再スタート(UCI 3.2.021ter)

再スタートは不正スタート（フライング）か、認められる事故が起こった時のみ与えられることとなります。認められる事故とは、正当な落車・パンク・自転車の重要部品の破損のことであり、ペダル外し・スリップ・締付不足によるホイールのずれなどは再スタートの対象となりません。なお、競技者（チーム）が何らかの事故で走行を停止した場合、スターターが認められる事故でないと判断したならば、競技者（チーム）は予選では失格となり、その他のラウンドでは降格となります。

これは、再スタートを悪用して競技者（チーム）が不当に利益を得ないようにすることが目的です。

・スプリント

①先行義務について(UCI 3.2.039 , 3.2.039bis)

先行義務とスタンドスティルの項目が分割され、それぞれでレースの進行が変わります。インコースの競技者が最初の半周までに先行義務を果たしていないとみなされた場合、レースはストップされ、相手競技者がスタート位置を決めたうえで再スタートとなります。スタンドスティルについて改定はありません。

②レースの中止とその後の対応について(UCI 3.2.048))

スターターがレースを止める際の状況について整理がされます。再スタートの際、レースの中止の要因となった競技者、または違反した競技者がインコースに位置するという表現がありましたが、相手競技者がコースを選べるように統一されます。

・ポイントレース

①予選の運営について(UCI 3.2.115)

予選を行う場合は、各組最小 2 名で同じ人数が予選落ちするように設定することと規定されます。これは、スクラッチレース、エリミネーション、オムニアムでも同様となります。

②中間スプリントの周回数について(UCI 3.2.116)

333,33m 未満のトラックにおいては 10 周回、333.33m 以上のトラックにおいては 5 周回ごとに統一されます。

③スプリント周回時の周回獲得について(UCI 3.2.125)

スプリント周回の開始がベルによって示されたのちに、その周回で 1 人または複数の競技者が主集団に追いついた場合は、その（それらの）競技者に周回獲得の 20 点と、中間スプリントでのポイントが与えられることとなります。

すなわち、スプリント周回中においては、周回獲得の認定があってもスプリントポイントの

対象はベルが鳴ったときの先頭競技者にそのまま与えられます。

④レース中断時の再スタートについて(UCI 3.2.133)

レース中の半分以上の競技者が落車するなど何らかの理由でレースが中断した場合について、再スタートの方法が明示されます。これは、内容は競技種目ごとに異なりますが、マディソン、スクラッチ、テンポレースについても同様となります。

・チームスプリント

①ラバーパッドの敷設について(UCI 3.2.149)

直線部に置いていた3本のラバーパッドの敷設が不要となります。

・マディソン

①中間スプリントの周回数について(UCI 3.2.157)

②スプリント周回時の周回獲得について(UCI 3.2.167)

③レース中断時の再スタートについて(UCI 3.2.172)

それぞれの項目について、ポイントレースと同様に改定されました。

※再スタートの内容については異なります。

・スクラッチレース

①予選の運営について(UCI 3.2.175)

②レース中断時の再スタートについて(UCI 3.2.183)

それぞれの項目について、ポイントレースと同様に改定されました。

※再スタートの内容については異なります。

・タンデム（タンデムスプリント）について

①スタート位置について(UCI 3.2.184bis)

スタート位置はパラサイクリングのタンデムスプリントと同様に、ホーム側のパーシュートラインからスタートとなりました。

②レース周回数について(UCI 3.2.188)

レースの周回数はパラサイクリングのタンデムスプリントと同様に、トラックの周長によらず一律で3周回で実施することとなりました。

・エリミネーションレース

①予選の運営について(UCI 3.2.219)

ポイントレースと同様に改定されました。

・オムニアム

①予選の運営について(UCI 3.2.247bis)

ポイントレースと同様に改定されました。

・テンポレース

①レース中断時の再スタートについて(UCI 3.2.265)

ポイントレースと同様に追記されました。※再スタートの内容については異なります

2025 年 1 月 1 日改定 (予定)

一部の競技種目において、男子と女子の間で距離に違いがあるものは同一距離になります。

・インディビデュアルパーシュート(UCI 3.2.052)

エリート男子&女子 4km ジュニア男子&女子 3km

・タイムトライアル(UCI 3.2.101)

男子&女子 1km (マスターズは除く)

・スクラッチレース(UCI 3.2.174 , 3.2.175)

予選 エリート男子&女子 7.5km ジュニア男子&女子 5km

決勝 エリート男子&女子 10km ジュニア男子&女子 7.5km

・オムニアム(UCI 3.3.247)

①スクラッチ エリート男子&女子 10km ジュニア男子&女子 7.5km

②テンポレース エリート男子&女子 10km ジュニア男子&女子 7.5km

※④ポイントレースは変更ありません。

・テンポレース(UCI 3.2.260)

エリート男子&女子 10km ジュニア男子&女子 7.5km

以上